核兵器廃絶・放射能被害根絶・原子力空母いらない！

神奈川県原水協通信

発行：原水爆禁止神奈川県協議会
横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A
TEL 045(231)6284 Fax045(261)6577
Mail- kana-gensuikyo@gol.com
発行日：2015.10.15 No.９５

十月の活動報告（2）

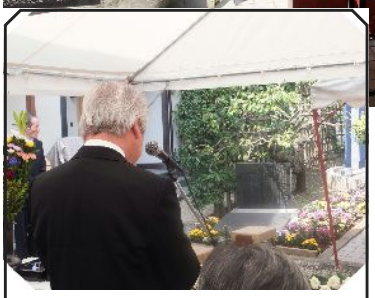
第49回神奈川県原爆死没者慰霊祭・2015年追悼のつどい

10月4日、午前10時から鎌倉市大船観音境内・原爆慰霊碑前で神奈川県原爆死没者慰霊祭・2015年追悼のつどいが行われ、被爆者をはじめ核兵器廃絶に関わっている方々が多数参加しました。

この1年間で神奈川県内で亡くなられた被爆者は134人おられました。

慰霊祭では、参加者が大船観音住職の読経の後、献花を行い死没者の冥福を祈りました。

追悼のつどいでは、原爆被災者の会中村雄子会長が、主催者を代表して被爆70年のにあたり、改めて核兵器廃絶の思いと決意、被爆者として安倍政権が強行成立させた戦争法に反対すると述べました。来賓として、県知事、横浜市長、川崎市長の代理がそれぞれ追悼のことばを述べ、松尾鎌倉市長、県生協連、県原水協も追悼のあいさつを行いました。



追悼のことばを述べる
片野憲二県原水協理事長

片野憲二県原水協理事長は、NPTの活動や平和行進、世界大会に触れ、揺るぎない核兵器廃絶の運動と世論の前進について語り、引き続き核兵器廃絶のために力を尽くすとともに、戦争法廃止のために全力をあげる決意を表明しました。

追悼のつどいに３０数名の合唱団が参加し、「にんげんをかえせ」「長崎の鐘」などの演奏があり、全員で「原爆許すまじ」を合唱し閉会しました。

大船観音“原爆の火”

各地からの報告・・・

横浜市北部原水協の10月の6・9行動

１０月６日、横浜北部原水協の核廃絶アピール署名行動が、青葉区新婦人５名、事務局１名の６名が参加して、東急たまプラーザ駅前で行われました。当日は、「原爆と人間」の写真パネル８枚を展示しての行動でした。

パネルをのぞきこんだ小学生に声をかけて、谷口すみてるさんのことを話しました。署名もしてくれました。みんなの前で話したり説明する新婦人の皆さんはすごいと思います。署名した最後は「頑張ってください」と握手をして励まされました。この子は、小学校３年生だそうです。こんな少女が素敵だと思い、こんな子がいる日本は誇りです。

終了時間になり後片付けをしていた時、「まだ間に合うかしら」と女性が声をかけてきました。片付けた中から署名用紙を取り出してサインしてもらいました。「あっカンパね」と、樋口一葉さん(5000円)。「えっ、桁違いじゃありませんか」「いえ、なにも出来ないのでせめてこれぐらい」と。アピール署名４２筆、戦争法廃止６筆、被爆者訴訟２筆（うち1人はフランス国籍、アピール署名はできないがと）。カンパは７，１００円でした。

横須賀で（米山さんの報告）

８月、９月続けて６日行動ができなかったので久しぶりの核廃絶署名行動でした。新婦人５名、原水協２名の７名の参加。署名数は３０筆、カンパは２千円でした。

活動報告待ってます

県原水協も

６日、８人が参加して伊勢佐木町商店街で６・９行動署名を行いました。戦争法成立後最初の署名でしたが反応が良く、対話も弾み、４１筆の署名が寄せられました。

原子力潜水艦シャイアン

１０月１０日午前１０時３５分、原子力潜水艦シャイアンが横須賀基地に入港。今年１０回目の入港で原子力艦船の入港は通算９０９回目。県及び横須賀市原水協は１１日、米海軍横須賀基地に赴き、受け取りを拒否する当直司令官を再三説得し、抗議文を手渡しました。原子力空母ＲＲは１５日、横須賀を出港。

原子力潜水艦シャイアン